

北海道新聞(令和7年12月16日)

海道新聞

第3類動物源性

中学生人権作文コン

【北斗】第44回全国中学生人権作文コンテスト函館地方大会と、本年度の小学生式が6日、七重浜住民センターで開かれ、入賞した児童生徒に表彰状が贈られた。

作文コンテストは法務省と全国人権擁護委員連合会の主催。函館地方法務局管内は19校572点の応募があり、表彰式では優秀賞以上の8人に賞状が手渡された。

福井さん（函館聾学校2年）**最優秀**

優秀賞に三上さん

稜馬さん(13)の「コンテンツの力」。福井さんは作文の中でも、耳の不自由な女の子が登場するアニメ映画「聲の形」に触れ、自分がいじめられるような経験がなかつたのは、このままうな映画などのおかげなのではなし、誰かを尊重することの大切さや言葉で直接伝えるよりも人の心に残るコンテンツの力についてつづつ語った。福井さんは受賞に「予想外でした。うれしかった」と笑顔。表彰式では作文の全文を手話を付けて朗読していました。「緊張しました」と話していた。

全文を
掲載

また、函館聾学校2年の三上ゆ希さん(14)も「無意識の差別」と題して、した作文で優秀賞に。障害者への差別についてつづり、「まさか選ばれるとは思わなかつた」と受賞を喜んでいた。

函館聾学校では、聴覚に障害のある生徒の言語力を伸ばすため、作文指導に力を入れており、飯田広行校長は2人の受賞に「頑張りが社会から認めてもらひえてうれしい」と話

ボスター・コンテストは函館地方汽務司と函館人権擁護委員連合会の主

ポスター・コンクールも表彰 函館、七飯、北斗で入賞作展示

高橋ひかり（せたな・北檜山中3年）、有會花（北斗・上磯中2年）、岡川志穂（七飯中1年）、杉浦太一（道教大付屬中2年）、工藤るな（圓尻中3年）、野口未愛（北斗・上磯中3年）、佐藤花夏（七飯中2年）、古館ひかり（厚沢部中3年）
△ポスターの最優秀賞△（同）
森陽羽（上ノ国・河北小4年）、山田優衣（寿都小4年）、中里心々
優（函館・中央小6年）、中野麗（江差北中1年）、国井理（七飯中2年）
署名（上ノ国中3年）

催しいじめや障害のある人に関する問題などをテーマに人権意識を高める作品を募り、渡島・檜山管内の小学校4年生以上167人と中学生80人から応募があった。

両コンテストの入賞作は1月6日まで函館市電車内、16～23日まで五稜郭タワーアトリウム、2月9～16日まで七飯町文化センター、2月18～25日まで北斗市公民館で展示される。

（内田晶子）

